

## 「自分の思いをもち、豊かに表現する児童の育成」

～新聞を活用した「書くこと」の授業づくりを通して～

### I 研究の内容

#### 1 研究の具体的内容と方法

- (1) 「書くこと」に対する児童の実態を調査・分析し、課題を明らかにする。
- (2) 新聞を活用できる教科・領域の研究をする。
- (3) 新聞を活用した「書くこと」の授業づくりをし、授業研究で検証する。
- (4) 新聞を活用した読書活動や言語環境づくりの推進を図る。
- (5) 一人一実践を公開し、教師としての力量を高める。

#### 2 研究実践

##### (1) 児童の実態調査

- ・昨年度実施したC R T検査から、各学年の「書くこと」についての実態を分析し、どのような指導が必要かを検討する。

##### (2) NIE 低・中・高学年のテーマ

- ・低学年のテーマ「新聞を開こう。」
- ・中学年のテーマ「新聞を読んで自分の考えをもとう。」
- ・高学年のテーマ「新聞を使って情報を発信しよう。」

##### (3) 新聞を活用できる授業の洗い出し

- ・学年ごとに新聞を活用できる教科や領域を洗い出し、年間指導計画に位置づける。

##### (4) ブロック研究

###### 【読書活動ブロック】

###### ① 研究内容：

- ア 新聞を取り入れた読書活動（朝の活動）の計画と推進。
- イ 家庭との連携。
- ウ 新聞を活用した「書くこと」の授業作り。

###### ② 授業実践

第3学年 国語科 教材名「秋の詩の発表会を開こう」

授業者 奥石晴美教諭

目指す言語能力；写真を見て想像したことなどをもとに詩を書く力

指導助言； 峡東教育事務所 小林俊彦指導主事

###### 【言語環境づくりブロック】

###### ① 研究内容

- ア 児童が新聞に親しむための環境づくり。
- イ 学年ごとの新聞を活用した取組。
- ウ 新聞を活用した「書くこと」の授業作り。

## ② 授業実践

第4学年 国語科 教材名「アップとルーズで伝える

リーフレットづくりをしよう」

授業者 堀井勝彦教諭

目指す言語能力；アップとルーズのそれぞれの特長を生かし、写真と対応させながら文章を書くことができる。

指導助言； 峡東教育事務所 萩原 徹主幹指導主事

## II 成果と課題

### 1 成果

☆新聞を活用した「書くこと」の授業づくりについては、日常のNIEの取組を生かす授業により、自分の思いをもちながら児童が意欲的に書くことに取り組み、書くことが苦手な児童も日常の活動を通して記事の内容をよく理解して取り組むことができた。また、「新聞の写真から感じたことを書く」→「ウェブページを作る」→「詩を書く」という学習課程は、児童が自分の思いをもったり、イメージを膨らませたりするのに有効であった。さらに、書くことが苦手な児童にとってはスモールステップの学習課程が必要だということが明らかになった。

☆新聞を活用できる授業の洗い出しを行ったことにより、一年間を見通した上での実践が可能になった。同時に洗い出したものを来年度の教育課程の中に位置づけることができ、研究の成果を生かすことにもつながった。

### 2 課題

★今年度でNIE実践校としての取組は終了するが、今年度のNIEの成果をどのように生かしていくかが課題である。

## III 成果物

- 1 第1学年 国語科学習指導案 教材名「かるたをつくろう」
- 2 第2学年 国語科学習指導案 教材名「写真でお話をつくろう」
- 3 第3学年 国語科学習指導案 教材名「秋の詩の発表会を開こう」
- 4 第4学年 国語科学習指導案 教材名「リーフレットをつくろう」
- 5 第5学年 国語科学習指導案 教材名「新聞を読もう」
- 6 第6学年 社会科学習指導案 教材名「戦争から平和へ」
- 7 第6学年 理科学習指導案 教材名「人と環境」
- 8 各学年のNIE実践記録集
- 9 平成24年度年間指導計画

(研究主任 古屋宏記)